

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろーばー2nd		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 12月 16日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別プログラムと集団プログラムの提供	短時間で集中して行う課題。じっくり時間を掛けて行う課題をレベルに合わせて個別に準備しています。集団プログラムにも参加できるように参加しやすい環境や声掛けを工夫しています。	職員の質の向上。得意分野を活かし、より専門性を高めた支援プログラムを提供していきたいと考えております。
2	定期的に講師に来ていただき、職員向けに専門的研修を開催している。	ことば療法士による研修では、音楽療法での発達段階におけるあり方だけでなく、個々の障害特性に合わせた声掛けの仕方、脳の仕組み等を学び職員のスキルアップを目指している。	保護者様も参加できるセミナーを開催していきたい。
3	法人内に就労支援A型事業所、B型事業所、生活介護がある。	将来設計の見通しが立てやすく、就労に必要な訓練をデイで取り組む事も出来る。	保護者様に他事業所の案内をおこない、モニタリング時に周知していけるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他機関を含め、事業所外とのつながりが希薄。	積極的に外部イベントには参加をしますが、他事業所との関わりがあまり持てません。	同系列の事業所との合同イベントや年1回の発表会等を企画してみたいです。
2	個別プログラムの強化	個別ことば療法等、専門分野での個別プログラム時間を確保して取り入れたい。	時間の確保とニーズの確認。
3	職員間での情報共有の時間の確保。	定期的に時間を確保し、保護者の方がどこに問題を感じているのか、本人の思いはどうなのか等を十分に話をして共有していきたい。	プログラム作成や研修等、日々時間に追われてしまって余裕がないですが、ツール等の見直しを行い、効率よく取り組んでいきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くろーぼー2nd

公表日 年月日2026年2月10日

利用児童数 年月日

回収数 4

	チェック項目	はい				どちらとも いえない				いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%								丁度いい広さだと思います。	安全に留意し出来るだけ広いスペースを確保するように努めて参ります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	75%				25%				送迎の際、運転係と介助係の人でして下さるので安心です。	指定基準通りに配置しています。プログラム内容、利用児童の特性を考慮し適切な職員の配置を考えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%								できるだけ段差がないようにしています。	今後も継続していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%								こまめに清掃して下さっているので助かります。	毎日の清掃・消毒と定期的に換気をするように努めています。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	75%	25%							こどものレベルに合わせた支援計画を作成して下さっているので助かります。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	75%	25%							合っていると思います。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%								丁寧に作成して下さっています。	今後も継続していきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	75%				25%				適切に設定されていると思います。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	75%	25%							少しずつ出来るようになってきているので支援がしやすくなっている成果だと思います。だいたい計画に沿った支援をして頂いていると思います。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	75%	25%							バリエーションがいっぱいです。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	75%				25%				他学年、他校のお友達がたくさんなので交流できています。	今のところ、児童館や育成会との交流は考えておりませんが、地域のお子さんとの交流は機会があれば、是非取り入れたいと考えています。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%								ありました。	今後も継続していきます。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	75%				25%				面談においてありました。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25%				25%	50%			家族参加の研修会なされているのかわからない。	必要に応じて検討していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%								連絡帳や口頭等で出来ていると思います。	今後も継続していきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%								連絡帳や口頭等で出来ていると思います。	今後も継続していきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	75%	25%							親身になって下さいます。	すべての利用者様に安心して預けていただけるよう、努力してまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。					25%	75%			イベントがあるのかわからない。	イベントが提供できるような検討していきます。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%								できるだけすぐに対応して下さっています。	今後も継続していきます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				いつも丁寧に下さっています。連絡帳の他、送迎時に子供の様子を色々伝えて頂くことも助かります。	今後も継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	75%			25%	どこにあるかわからない。	通信やモニタリング時に発信できるように努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				されていると思います。	書庫には鍵をかけて、管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%				されていると思います。	非常災害緊急時の対応について、年1回内容を見直し、各ご家庭に書面を配布しています。今後も継続します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	75%			25%	して下さいます。	消防計画に基づいた防災訓練を年2回実施しています。今後も継続し、お子様の安全確保に努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75%		25%		そう思います。	消防計画に基づいた防災訓練を年2回実施しています。今後も継続し、お子様の安全確保に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				連絡帳や口頭等で出来ていると思います。	万が一事故やけがが発生した際は、速やかに連絡するか、お送りした際に直接状況をお伝えしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				とてもリラックス出来ています。これまで事故やケガもなく通えていますので子供も安心して通所していると思います。	今後も継続していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				とても大好きです。	今後も継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				感謝でいっぱいです。時間等の無理を言う事もありますが承諾して頂き助かってます。	皆様にご満足頂けるよう今後も尽力を尽くして参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くろーばー2nd		公表日		2026年2月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・できるだけ広く使えるよう定期的に清掃(不要なものを捨てる)しています。 ・集団や個別のプログラムに応じて活動部屋を変えています。	・クールダウンできる場所や個別で集中したい時に使えるスペースを作りたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		指定基準通りに配置しています。	今後も継続していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・学習スペース・遊びのスペースを分けています。 ・カードを使用するなど、特性に合わせた表示をしています。	今後も継続していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・季節やイベントに合わせて壁面を飾り盛り上げている。	今後も継続していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%	・個別の部屋はないですが、少しでも落ち着ける場所へ移動してもらったりしている。	今後も必要に応じて適切なスペースを確保し、安心して過ごせるよう工夫していきたいと思っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	・月1回の職員ミーティングや定期的なスタッフミーティングで問題点や改善点を共有し、業務改善に努めています。	非常勤スタッフを含む全職員が「PDCA」を再認識できるよう周知したいと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・年1回の保護者アンケートで貴重なご意見をいただいています。	ご意見を真摯に受け止め、業務改善につなげていけるよう努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・日々職員同士で情報を共有しています。 ・従業者向けのアンケートやストレスチェックを行っています。	スタッフ同士が気軽に話合えるよう、風通しの良い職場環境であるよう努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	・外部の専門職の方からアドバイスをいただき、改善につなげることはありますが「評価」はしてもらっていません。	検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・オンライン研修や講演会に参加しています。	今後も継続していきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			今後も継続していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・半年に一回モニタリングを実施、アセスメントを行いニーズや課題を確認したうえで個別支援計画を作成しています。	今後もアセスメントを丁寧に行い、具体的な支援内容についても十分ご理解いただけるよう、支援員一同努めてまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・計画作成にあたっては支援に関わる職員の意見を取り入れつつ、おこさまの最善の利益を考慮した計画を作成しています。	今後も継続していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	・職員ミーティングを定期的に行っており、支援員全員が個々の特性を理解し、個別支援計画に基づいた支援を行っています。	今後も継続していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%	・発達検査の結果などは保護者からいただき、支援の参考にしています。気になる行動がある場合は、日々の支援記録に記録し観察しています。	今後も継続していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	50%	50%	・本人支援、家族支援、移行支援を設定して作成しています。	今後も継続していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・すべての支援員が得意分野を活かし、お子様が様々な体験ができるよう、職員同士で意見を出し合ってプログラムを決めています。	今後も継続していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・その日に利用するお子さまによって難易度を変える、過去とかが違ってたら変化をつけるなどの工夫をしています。 ・季節的なもの、行事的なものなども取り入れながら療育プログラムを考えています。	今後もお子さまの発達に応じた楽しいプログラムを考えていきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・個別活動と集団活動を5領域との関連性も考えながら計画を作成し、支援を行っています。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・支援開始前に準備しながら内容・目的・注意点・流れなどを職員同士で話し確認しています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			終了後に確保する時間がないため、次の朝に共有する時間を設けている。(緊急時を除く)
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		支援経過記録や業務日報を記録し、度々個別支援計画に沿った支援になっているかを確認しています。職員が個別支援計画を確認しやすいように工夫しています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・半年に一度保護者様と面談を行い、支援計画の見直しを行っています。	今後も継続していきます。お子さまに気になる点や変化があった場合は、その都度モニタリング及び支援計画の見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	50%	50%	集団プログラムだけでなく、自由時間には自分の興味のあることを楽しめるようにしています。学期休暇にはおでかけや夏祭りなど地域の子どもたちやご家族同士が交流できる機会を作っています。	今後も継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	100%		・強要はせず、いつから始めるか？どれだけできるか？など子どもの意見を聞いています。自分で決めてそれを実行する力を育てることを大切に考え、支援を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・児発管及びその子によく接している支援員が参加します。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・関係機関・学校と連携し、必要に応じて支援会議等を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・学校のお迎え時、先生と情報共有し対応しています。	今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		今まで行ったことはありませんが、必要に応じて情報共有する体制はできています。	今後も継続していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		お問い合わせがあれば、情報提供できる体制はできています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		モニタリングの際、助言をいただくことがあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		プログラム内容によっては地域の子どもたちと接する機会がある場合もありますが、積極的な交流は今のところ考えておりません。	ご希望があれば検討いたします。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%	参加できておりません。	検討していきたいと思えます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送迎時など保護者様と会える時は必ず様子のお知らせなど会話するようにしています。	今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		保護者の方からのご相談には家族支援として個別に対応しています。	研修は今後前向きに検討していきたいと考えております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時の重要事項説明の中で、利用者負担額についてお伝えしています。支援プログラムについては、ご見学にお越しいただいた際に説明しています。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		半年に1度、対面にて面談を行い、ご意向をお聞きしています。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		計画案を提示し、内容を説明したうえで同意をいただいています。	今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		いつでも相談を受ける体制を取っています。相談があれば連絡帳・電話・面談などできる限りの対応、助言を行っています。	今後も継続していきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者様同士が交流できるようなイベントを企画していきます。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		すぐに職員間で話し合い、できる限り迅速な対応を心がけています。	今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		月1回の通信発行によりお子さまの活動の様子を発信している。	Instagramの活用を検討中です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報ファイル、支援記録等は鍵付きのキャビネットに保管し、情報流出がないようにしています。通信やブログでの写真掲載については、保護者様からの同意書を頂いております。	今後も継続していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		目で見てわかるよう掲示や絵カードで視覚支援を心がけています。保護者の方へは、連絡帳やお手紙でお知らせしていますが、書面でのご理解が困難なときは、直接対面で説明するようにしています。	今後も継続していきます。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		実施しておりません。	個人情報を守る観点から、実施は難しいと考えていますが、ご要望があれば検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		非常災害時の対応については年1回見直し、各ご家庭に書面を配布しています。各マニュアルはそれぞれの研修・訓練の際に見直し、必要に応じてアップデートしています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		消防計画に基づいた避難訓練や、研修・訓練に基づいた手洗い指導（いずれも年2回）を各マニュアルに沿って実施しています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		初回契約時、その後は半年ごとのモニタリング時に状況を確認しています。	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		配慮が必要な場合は保護者様からの指示に対応しています。クッキングやおやつの際、アレルギー対象の食材が入っていないか確認しています。	今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画に沿って研修や訓練等を行い、安全管理をしながら支援を行っています。	今後も継続していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		くろーばー利用時の緊急時の対応について、年1回ご家庭に書面を配布しています。	今後も継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		何かあったときは記録に残し社内ミーティングで報告。今後の対策も含めて話し合い、共有しています。また、他事業所とも連携を行い、事故発生防止に努めています。	今後も継続していきます。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に研修を受け、常に資質の向上を図り、適切な支援を行えるよう努めています。	今後も継続していきます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		現在、身体拘束を要するお子さまはいませんが、必要な場合は契約時に保護者様に説明し、許可を得るようにしています。	今後も継続していきます。	